

ぼうさいこくたい 2023 in 神奈川

神奈川地学会は、オリジナルセッション Os-7 出展

神奈川直下の「プレート境界型地震」大正関東地震 その原動力と横浜の被害実態を知る

丹沢山地や伊豆半島を日本列島に衝突させ、神奈川県をつくった大変動は今も続いています、
私たちが今観ている景色は大自然の一経過です。次の火山や地震活動が来る前に…

日時：2023年9月17日(日)18日(月祝)

会場：横浜国立大学



関東地震の原因を物語る丹沢山地のアオサンゴ化石や、神奈川県の生い立ちを示す枕状溶岩を展示。



横浜は二万六千人もの犠牲があった被災地だった…。
横浜震災遺構を巡るコースを紹介。



横浜公園では、大火災の中、5～6万人が大火災包囲の中、紙一重で生存。
横浜被害実態と遺構の街歩きコースを紹介。

講演の部 9月17日(日) 横浜国立大学 教育学部棟6号館 101講義室 ぼうさいこくたい Os-7

第I部 神奈川の関東大震災 発生メカニズム及び被害と減災行動 12:40～14:30

講演：門田真人 氏「関東大震災を引き起こした神奈川の大地と地質

～丹沢の谷にサンゴの化石～（海変じて山となる大変動は今も…）」

講演：相原延光 氏「複合災害としての関東大震災～地盤災害と同時多発火災～

第III部 過去の災害教訓を今、未来に語り継ぐ

16:30～18:00

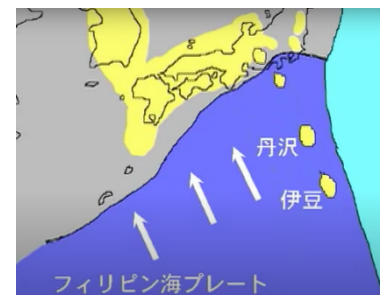
講演：相原延光 氏 関東大震災の被災地を歩く～関東大震災の震源域の遺構から学ぶ防災～

実物・ポスター展示 9月17日・18日 教育学部棟6号館 101講義室及びホール

★プレートテクトニクスの神奈川県下の痕跡 岩石・化石

★神奈川の成り立ち「丹沢の化石サンゴ礁」図表・映像

★横浜の地形・地質・大正12年の気象状況（神奈川地学会）



大正関東地震(M7.9)は神奈川県丹沢山地を頂点とするフィリピン海プレートの沈み込みによる「プレート境界型地震」
その運動は、南方の火山島だった丹沢山地や伊豆半島を本州に衝突させ、地震や火山噴火を伴いながら日本列島を形成。
その「動いた証拠」となった丹沢のサンゴ化石や岩石を展示。有志自作ビデオ「丹沢の化石サンゴ礁」上映。